

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社 安永

証券コード:7271

2016年11月24日



本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。その為、様々な要因によって実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。  
本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えいただきますようお願い致します。

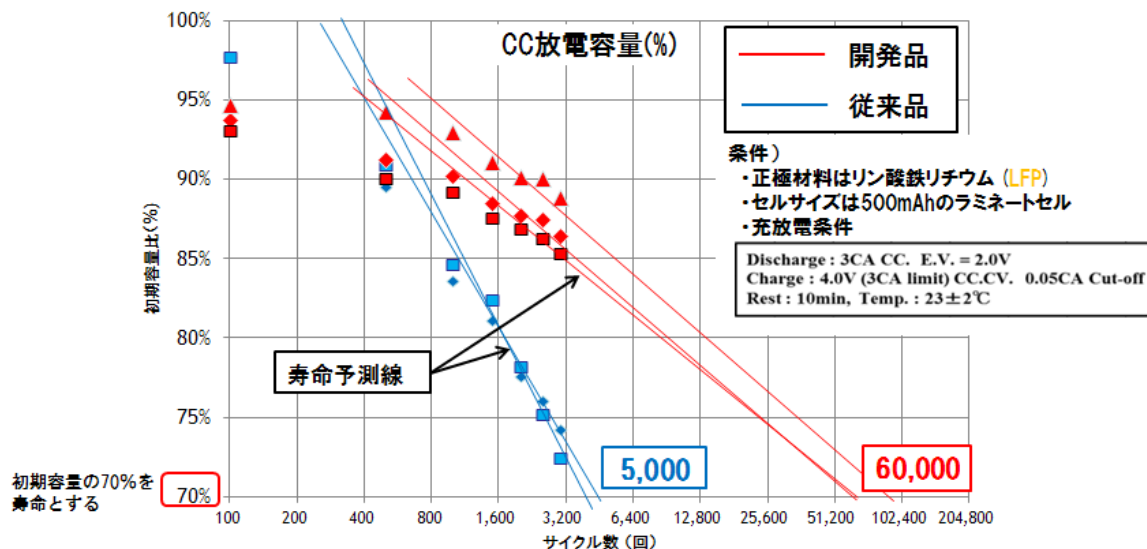
- **トピックス**
- 2017年3月期 第2四半期決算概要
- 2017年3月期 通期業績予想
- 第4次中期経営計画の取組み



## リチウムイオンバッテリー関連研究開発の成果

当社は、試作セルにて、リチウムイオン電池の正極極板製造に独自の技術を導入し、リチウムイオンバッテリーの寿命を当社従来品比12倍以上に向上させました。(特許出願中)蓄電デバイスのコスト低減に貢献できると期待しています。

サイクル寿命評価



## エンジン部品事業 コンロッド部品の顧客基盤拡大

### (株)安永

- ・海外自動車メーカーから  
コンロッドの初受注決定  
17年10月量産開始予定



安永メキシコ 工場完成

### 安永タイ

- ・日系自動車メーカーから  
コンロッドの初受注決定  
18年2月量産開始予定

### 安永インドネシア

- ・日系自動車メーカーから  
コンロッドの初受注決定  
17年9月量産開始予定  
(海外拠点で初のかち割り工法ライン)

- トピックス
- **2017年3月期 第2四半期決算概要**
- 2017年3月期 通期業績予想
- 第4次中期経営計画の取組み





ワイヤソー



検査測定装置



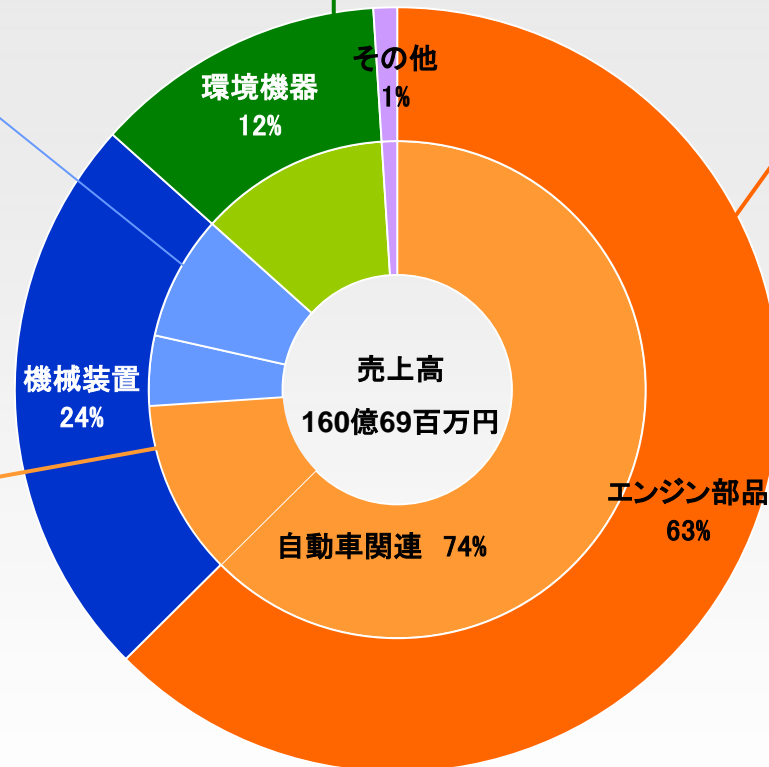
工作機械



エアーポンプ



ディスクポーザ



コンロッド



シリンダーヘッド



シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト

## 第2四半期 決算トピックス (増収増益)

機械装置事業において検査測定装置販売が好調。  
 エンジン部品事業、環境機器事業での原価低減活動等が増益に寄与。  
 しかしながら、海外子会社の外貨建て借入金に対して為替評価損を計上  
 したこと等により、経常利益及び四半期純利益の伸びは鈍化。

(単位:百万円)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	対前年同期	
			増減額	増減率
売上高	15,359	16,069	709	4.6%
営業利益	180	636	455	252.0%
(対売上比)	(1.2%)	(4.0%)		
経常利益	32	148	116	357.4%
(対売上比)	(0.2%)	(0.9%)		
四半期純利益	△ 96	△ 46	49	—
(対売上比)	(△0.6%)	(△0.3%)		



# 第2四半期決算：セグメント別 売上高・営業利益（連結）

【対前年同期】

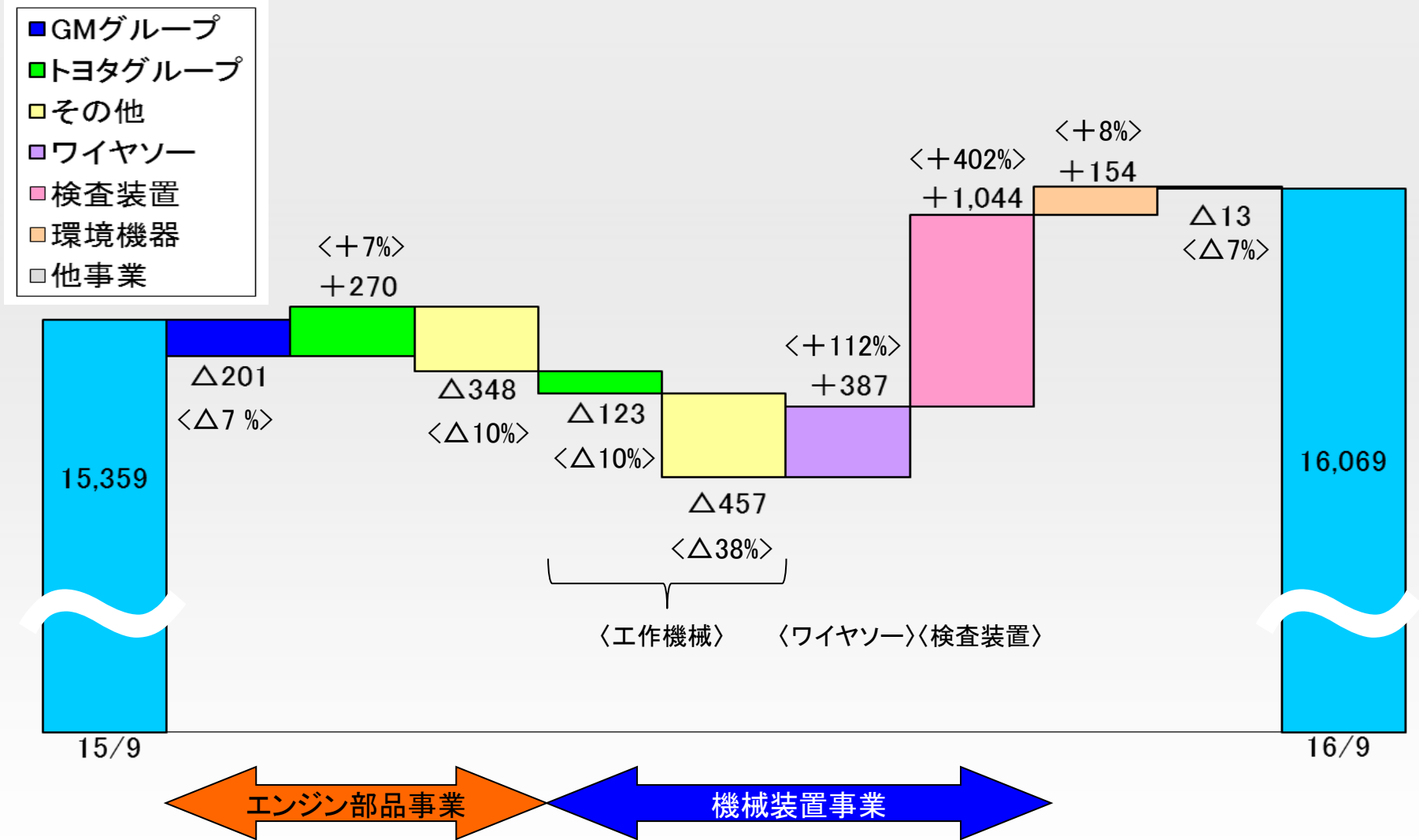
売上高の（ ）は構成比

営業利益の（ ）は営業利益率

	売上高			営業利益			売上増減内訳
	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	対前年増減	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	対前年増減	
エンジン部品	10,332 (67.3%)	10,053 (62.6%)	△ 278 (△2.7%)	119 (1.2%)	428 (4.3%)	309 (259.5%)	GMグループ △2.0億円 トヨタグループ +2.7億円 その他 △3.5億円
機械装置	3,017 (19.7%)	3,867 (24.1%)	849 (28.2%)	△ 85 (△2.8%)	△ 104 (△2.7%)	△ 19 -	工作機械 △5.8億円 ワイヤソー +3.9億円 検査測定装置 +10.4億円
環境機器	1,834 (11.9%)	1,987 (12.4%)	153 (8.4%)	167 (9.1%)	294 (14.8%)	127 (76.3%)	エアーポンプ +1.1億円 ディスポーザ +0.4億円
その他・調整	174	160	△ 14	△ 20	17	37	
合計	15,359 (100.0%)	16,069 (100.0%)	709 (4.6%)	180 (1.2%)	636 (4.0%)	455 (252.0%)	

# 第2四半期決算：連結売上高 増減要因（得意先別）

（単位：百万円） < >は対前年同期増減率



# 第2四半期決算：損益計算書の状況（連結）

【対前年同期】

（単位：百万円）

	16年3月期 第2四半期		17年3月期 第2四半期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	15,359	100.0%	16,069	100.0%	4.6%
売上原価	13,478	87.8%	13,845	86.2%	2.7%
販管費	1,699	11.1%	1,587	9.9%	△6.6%
営業利益	180	1.2%	636	4.0%	252.0%
営業外収益	37	0.2%	110	0.7%	192.4%
営業外費用	186	1.2%	598	3.7%	221.4%
うち支払利息	80	0.5%	72	0.5%	△9.7%
うち為替差損	65	0.4%	462	2.9%	605.0%
経常利益	32	0.2%	148	0.9%	357.4%
税前三半期純利益	34	0.2%	133	0.8%	286.9%
法人税等合計	130	0.9%	180	1.1%	38.0%
うち法人税等調整額	17	0.1%	14	0.1%	△16.6%
四半期純利益	△ 96	△0.6%	△ 46	△0.3%	—

# 第2四半期決算：貸借対照表の状況（連結）

【対前期末】

（単位：百万円）

	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	16,915	16,195	△ 720
固定資産	16,053	15,232	△ 820
資産合計	32,968	31,427	△ 1,541
流動負債	13,344	13,292	△ 51
固定負債	9,392	8,486	△ 905
純資産	10,232	9,648	△ 583
負債・純資産合計	32,968	31,427	△ 1,541
有利子負債	14,765	14,210	△ 554
自己資本比率	31.0%	30.7%	△0.3P
一株当たり純資産	855.27円	806.50円	△48.77円

主たる増減	
流動資産	
受取手形・売掛金	△409百万円
固定資産	
有形固定資産	△1,364百万円
投資その他の資産	+551百万円
流動負債	
1年内長期借入金	△470百万円
前受金	△283百万円
未払金	△135百万円
短期借入金	+800百万円
固定負債	
長期借入金	△753百万円
社債	△110百万円
純資産	
為替換算調整勘定	△501百万円

# 第2四半期決算：キャッシュ・フローの状況（連結）

【対前年同期】  
 (単位：百万円)

	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,230	963	△ 267
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 833	△ 476	357
財務活動による キャッシュ・フロー	259	△ 310	△ 570
現金及び現金同 等物の増減額	678	△ 17	△ 695
現金及び現金同 等物の期末残高	3,782	3,829	46

## POINT (主たる要因)

営業活動によるCF	減価償却費 為替差損 未払金の減少	+895 +373 △ 378
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 584
財務活動によるCF	有利子負債の減少	△ 263

## 第2四半期決算：有利子負債の状況（連結）

（単位：百万円）

	16年3月末	16年9月末
有利子負債（D）	14,765	14,210
現金及び預金	4,079	3,917
ネット有利子負債（D）	10,686	10,293
純資産（E）	10,232	9,648
D/E レシオ	1.44倍	1.47倍
ネット D/E レシオ	1.04倍	1.07倍

- トピックス
- 2017年3月期 第2四半期決算概要
- **2017年3月期 通期業績予想**
- 第4次中期経営計画の取組み



# 通期業績予想：2017年3月期 売上高・利益（連結）

（単位：百万円）

	16年3月期	17年3月期(予想)			対前年 増減率
	通期	上期(実績)	下期	通期	
売上高	30,913	16,069	17,931	34,000	10.0%
営業利益	373	636	384	1,020	173.0%
(対売上比)	(1.2%)	(4.0%)	(2.1%)	(3.0%)	
経常利益	△ 158	148	352	500	—
(対売上比)	(△0.5%)	(0.9%)	(2.0%)	(1.5%)	
当期純利益	△ 614	△ 46	146	100	—
(対売上比)	(△2.0%)	(△0.3%)	(0.8%)	(0.3%)	



# 通期業績予想：セグメント別 売上高・利益（連結）

売上高の（ ）は構成比 営業利益の（ ）は営業利益率

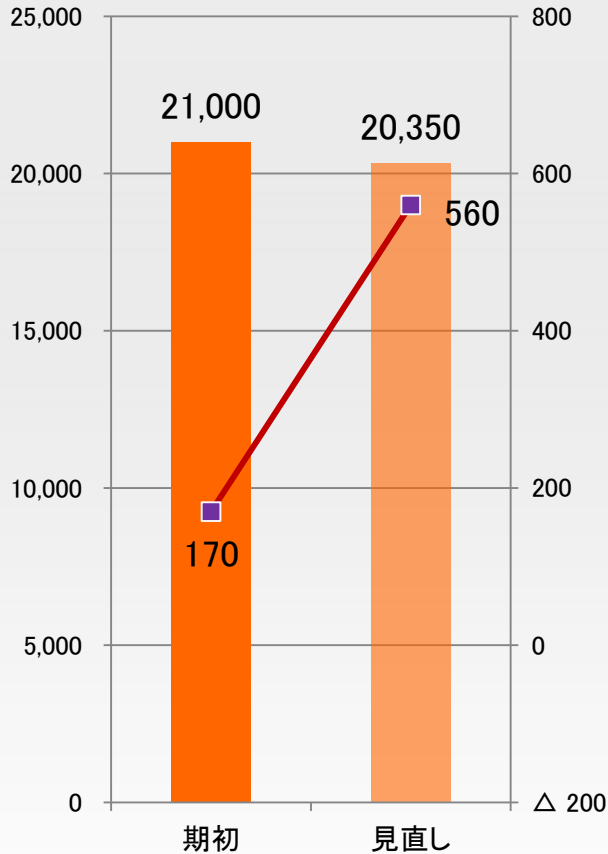
(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	16年3月期	17年3月期 予想			16年3月期	17年3月期 予想		
	実績	上期(実績)	下期	通期	実績	上期(実績)	下期	通期
エンジン部品	20,975 (67.9%)	10,053 (62.6%)	10,297 (57.4%)	20,350 (59.9%)	172 (0.8%)	428 (4.3%)	132 (1.3%)	560 (2.8%)
機械装置	5,943 (19.2%)	3,867 (24.1%)	5,883 (32.8%)	9,750 (28.7%)	△ 155 (△2.6%)	△ 104 (△2.7%)	184 (3.1%)	80 (0.8%)
環境機器	3,653 (11.8%)	1,987 (12.4%)	1,613 (9.0%)	3,600 (10.6%)	297 (8.1%)	294 (14.8%)	56 (3.5%)	350 (9.7%)
その他・調整	340	160	140	300	59	18	12	30
合計	30,913 (100.0%)	16,069 (100.0%)	17,931 (100.0%)	34,000 (100.0%)	373 (1.2%)	636 (4.0%)	384 (2.1%)	1,020 (3.0%)

# 通期業績予想：セグメント別 売上高・利益（連結）

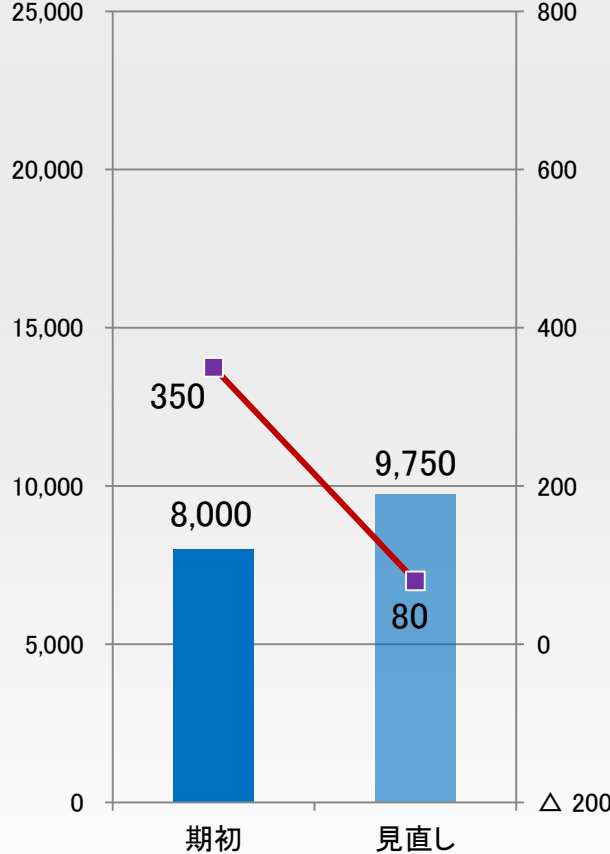
【期初と見直しの対比】

（単位：百万円）

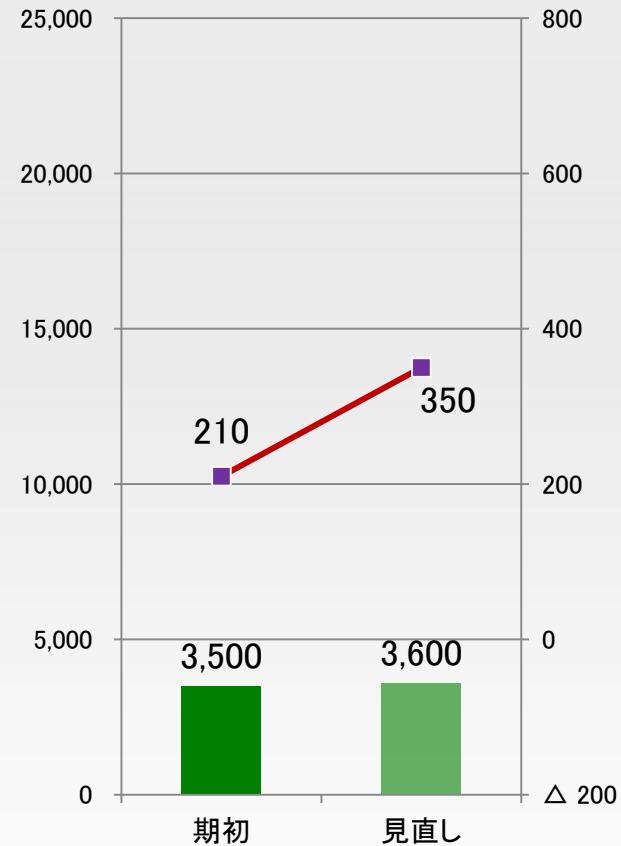
エンジン部品



機械装置



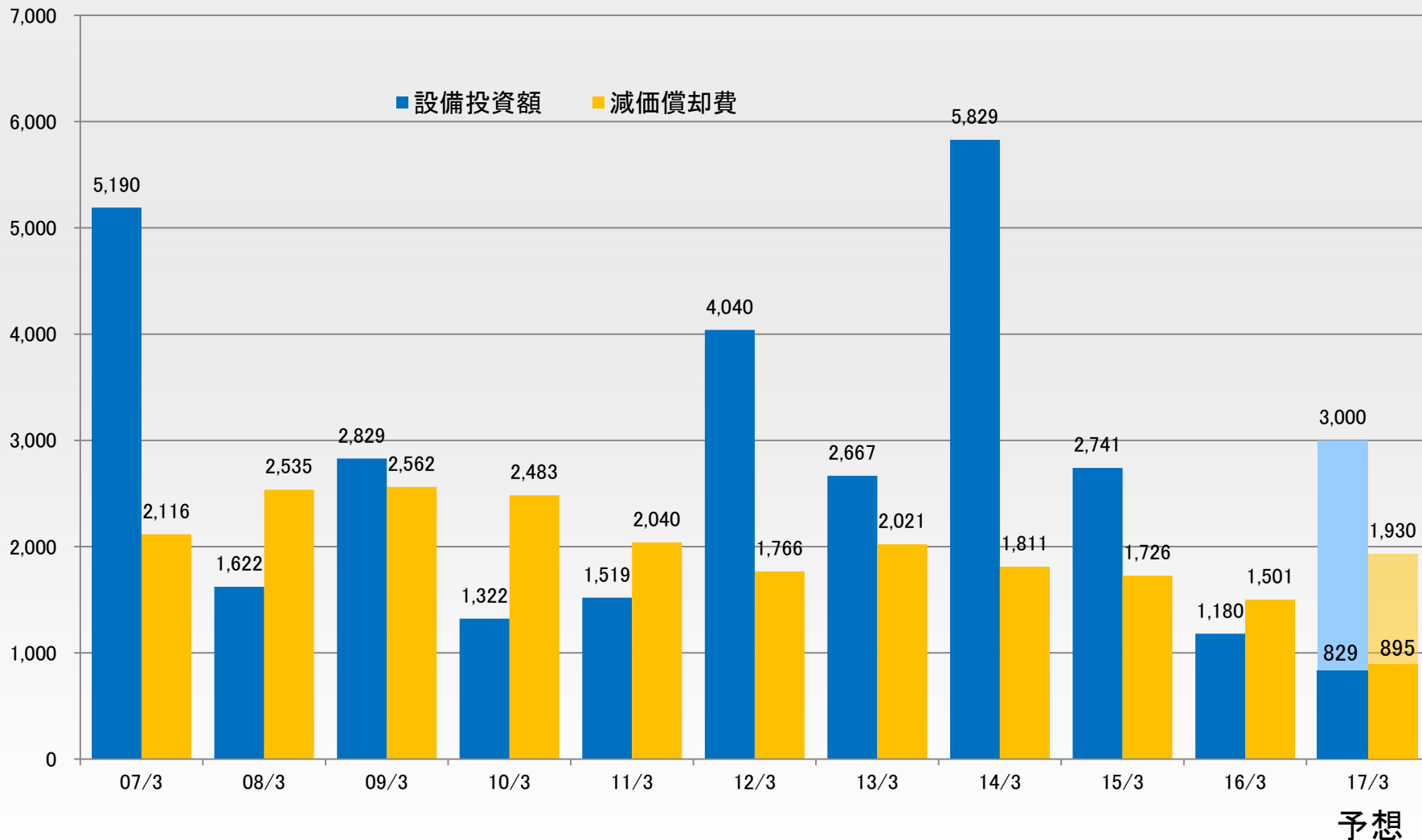
環境機器



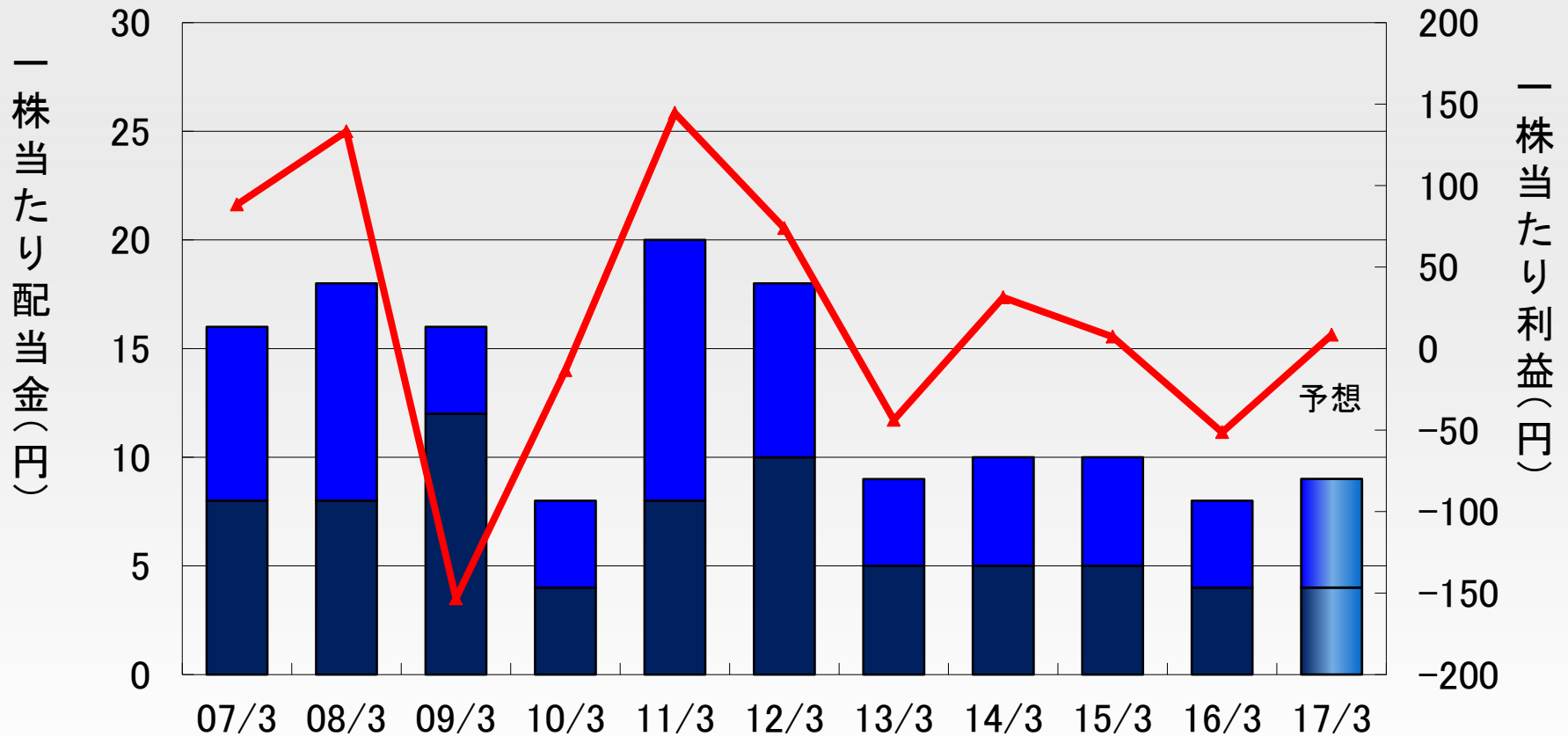
エンジン部品事業及び環境機器事業において、原価低減活動等により利益率が良化する一方、機械装置事業は、戦略価格での受注、販売等により、利益率が悪化する見通し。

# 設備投資・減価償却費の推移(連結)

(単位:百万円)



■ 1株当たり年間配当金    — EPSの推移



- トピックス
- 2017年3月期 第2四半期決算概要
- 2017年3月期 通期業績予想
- **第4次中期経営計画の取組み**



## 基本戦略

### 1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の拡充 ⇒ 韓国工場・タイ工場の安定成長  
インドネシア工場の拡充  
メキシコ工場の円滑な立ち上げ

### 2. 新事業の創出

- ◇『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』  
『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』の事業化を目指す

### 3. 財務体質の強化

- ◇財務体質の強化継続

## 事業戦略

### エンジン部品事業

◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める


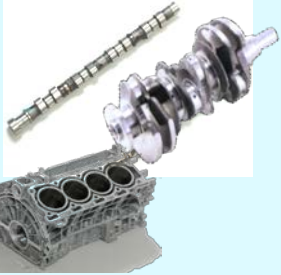
### 機械装置事業

◇成長市場を見極め、ニーズを先取りしたモノづくり技術を創出し世界的な競争力を持った装置を開発する

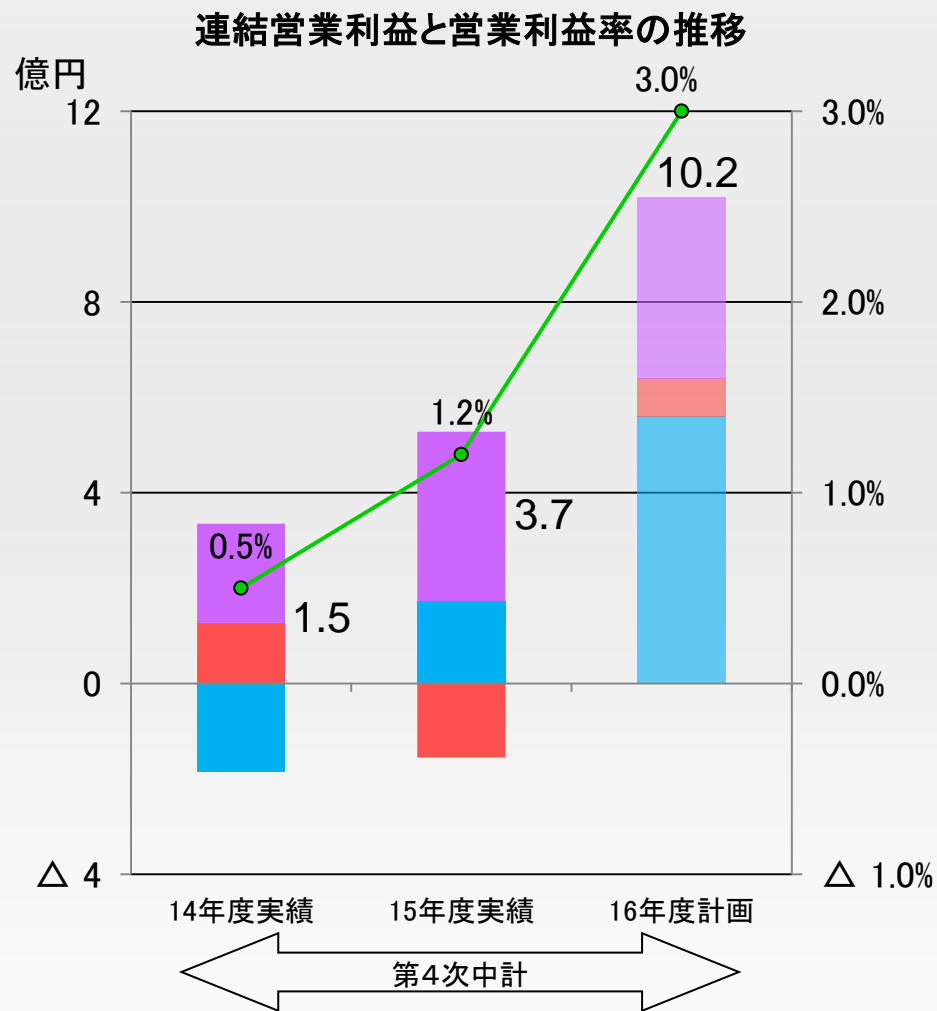
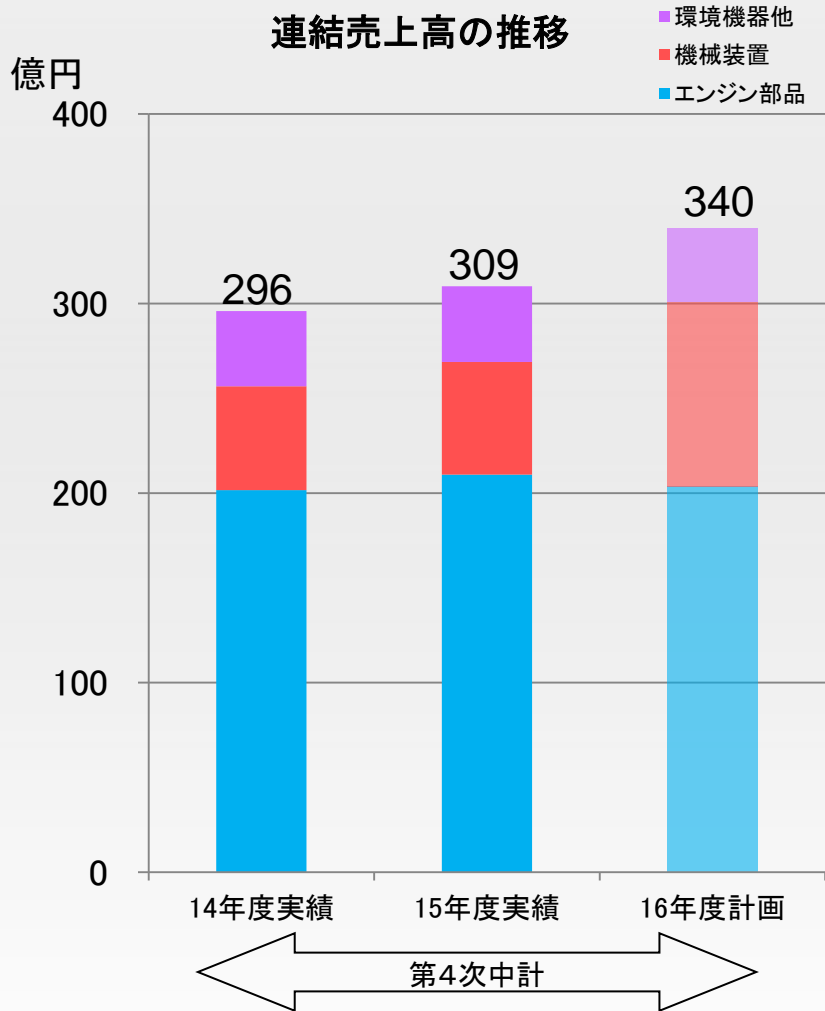
### 環境機器事業

◇「浄化槽用エアーポンプ」「燃料電池用エアーポンプ」「ディスポーザ」の3本柱で、業界No.1の地位を固めるべく、更なるシェア向上を目指す

# エンジン部品の商談状況

製品名		17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
コンロッド 	国内		● ●		●
	海外	● ● ●	● ●	● ● ●	● ● ●
シリンダーヘッド 	国内				● ●
	海外				
その他 	国内				●
	海外				





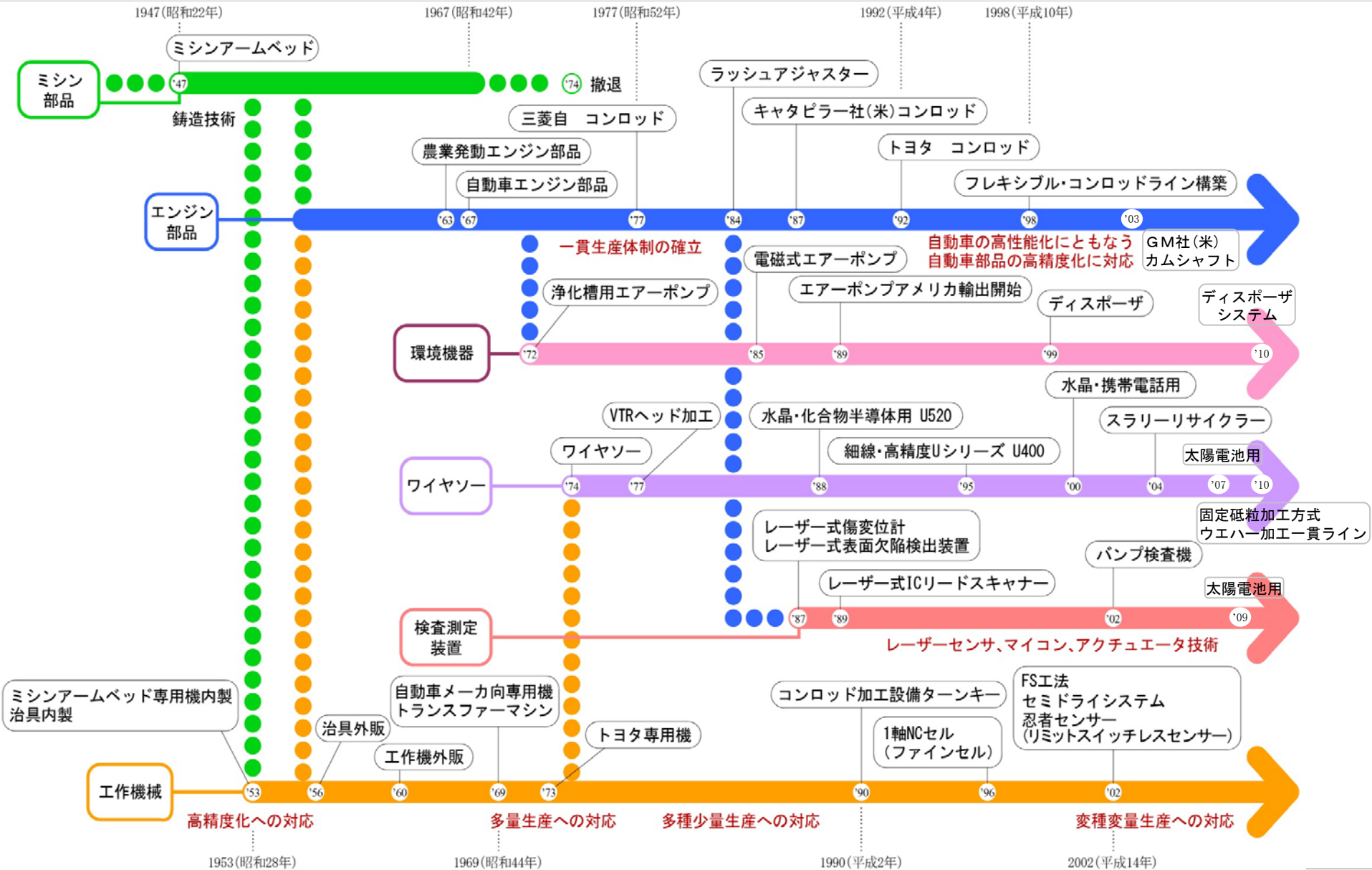
連結売上高、連結営業利益の16年度計画値は、第4次中計の目標と同数値です。

- **設立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上場** : 東京証券取引所 1部 (2014年6月12日)  
1単元の株式数 100株
- **事業内容** : エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、  
エアポンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2016年3月期>
- **売上高** : 309億13百万円(連結) <2016年3月期>
- **従業員** : 1,701名(連結) <2016年9月30日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)  
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社** : 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)



# 製品技術の歩み

## 補足資料②



# 事業領域 エンジン部品事業



## 補足資料③

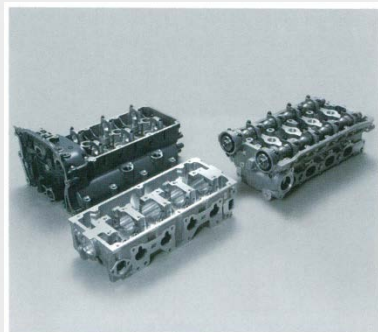
(%)はエンジン部品  
製品別売上比率

【16年3月→16年9月】



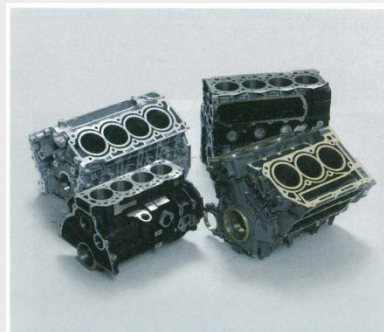
01 コネクティングロッド Connecting rod (48→50%)

トヨタ、三菱自、ダイハツ、FCA、  
三菱ふそう



02 シリンダーヘッド Cylinder head (12→12%)

韓国GM、スズキ、ダイハツ、三菱重工



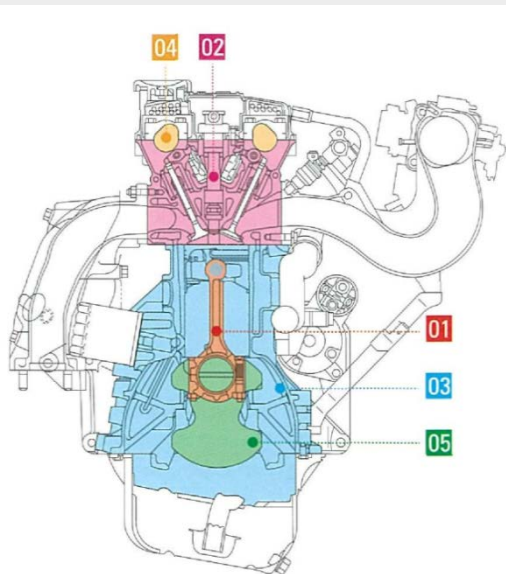
03 シリンダーブロック Cylinder block (14→13%)

三菱重工、ダイハツ、スズキ

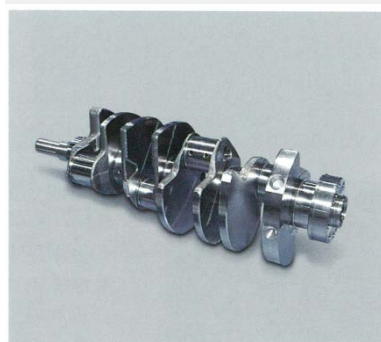


04 カムシャフト Camshaft (18→18%)

GMPT、GMHOLDEN



その他(7→6%)



05 クランクシャフト Crankshaft (1→1%)

韓国GM

自動車メーカーが  
内製している  
エンジン部品を  
当社が生産

エンジン内部に組み込まれる  
部品の生産・加工

エンジンの性能、  
機能を熟知

高品質、低コストの  
製品づくりを提案

### 【主要取引先】

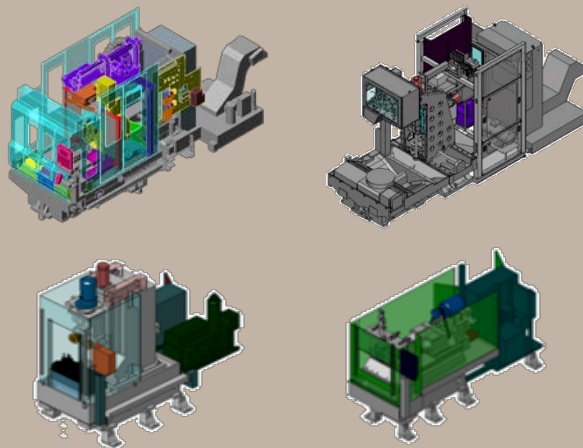
トヨタ自動車、GMPT、韓国GM、  
三菱自動車工業、ダイハツ工業、  
三菱重工エンジン&ターボチャージャー、  
FCA、クボタ、スズキ、三菱ふそう、  
GM HOLDEN等

専用機の  
豊富な経験から  
標準機を開発

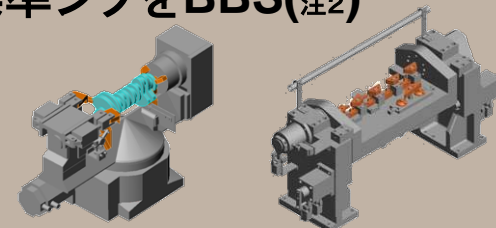
部品事業の  
生技ノウハウを  
開発、設計に  
盛り込む

### セルマシン(注1)で多くの実績

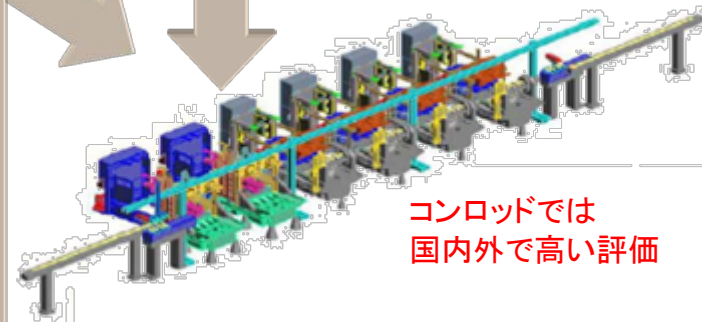
コンロッド、軸物(カムシャフト、  
クランクシャフト)加工設備



### 標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは  
国内外で高い評価

### ターンキー受注に対応可能

注1: 工程特化型マシニングセンター

注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

低コスト、高品質の製品づくりを提案

#### 【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系など)  
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

# 売上高・利益の推移（連結）

補足資料⑤

